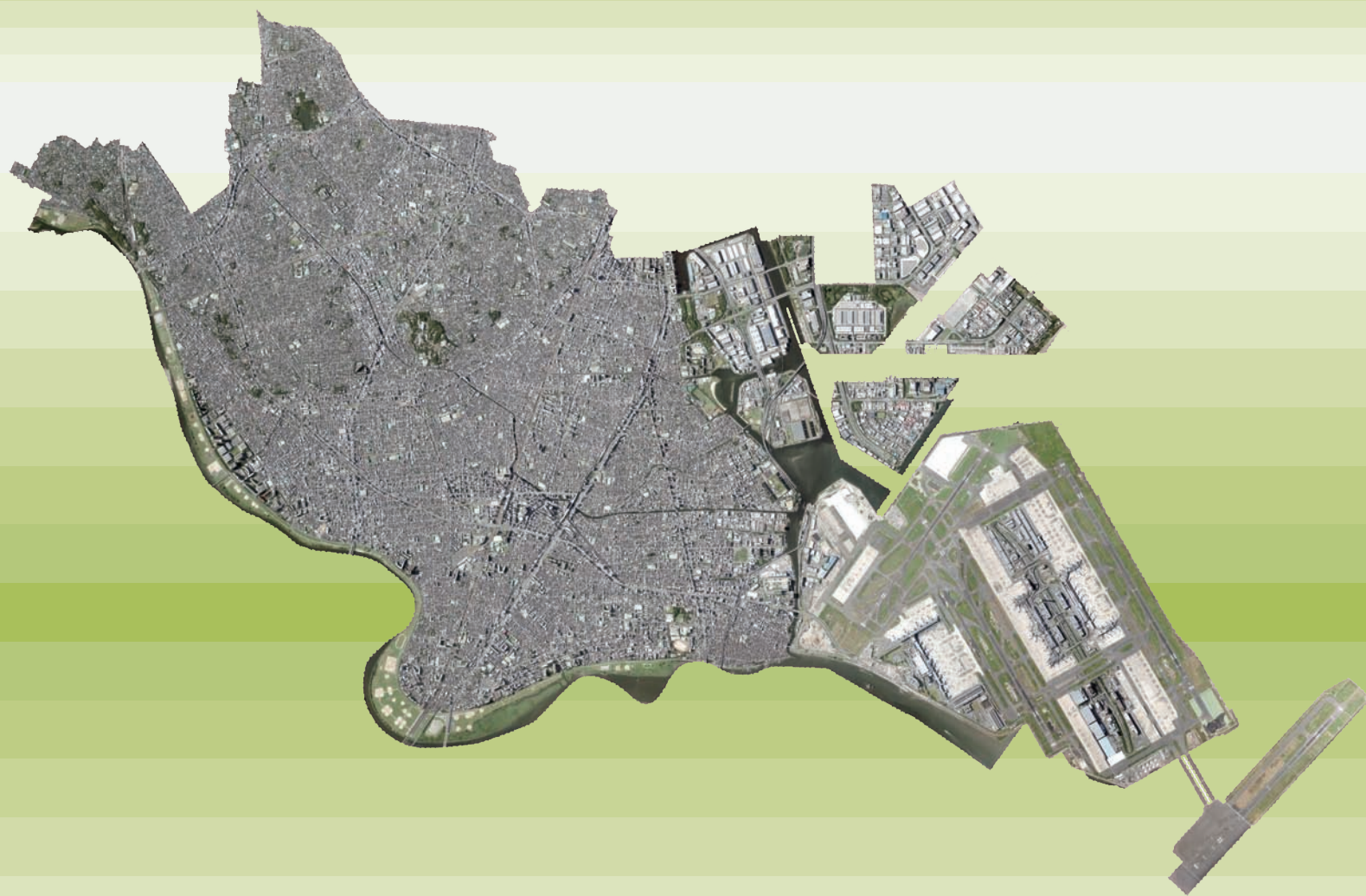


平成30年度
大田区
みどりの実態調査
概要版



区内のみどりの実態について、様々な視点から調査し、みどりの現況を把握するため、昭和49年から概ね10年ごとにみどりの実態調査を実施しており、今回の調査は第6回となります。新たに緑視率調査を実施し、緑被調査では把握できない、人の目に映る緑の量の把握も行いました。

緑被率

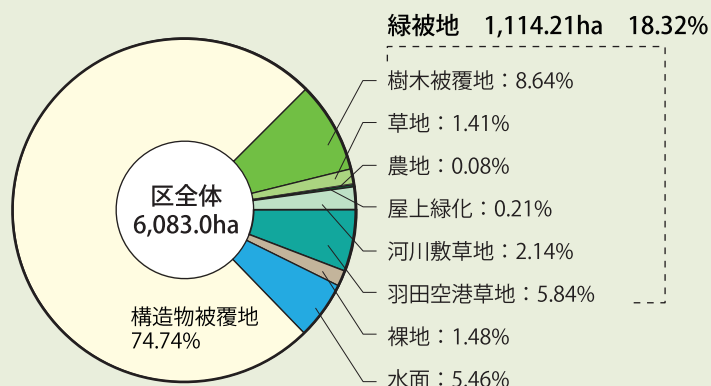
緑被率とは、区全体面積に対する樹木、草地、屋上緑化など緑に覆われた部分の面積の割合です。大田区の緑被率は18.32%です。また羽田空港を除いた緑被率は15.75%です。

緑被率・・・18.32%

平成21年度・・・20.47%

緑被面積・・・1,114.21ha

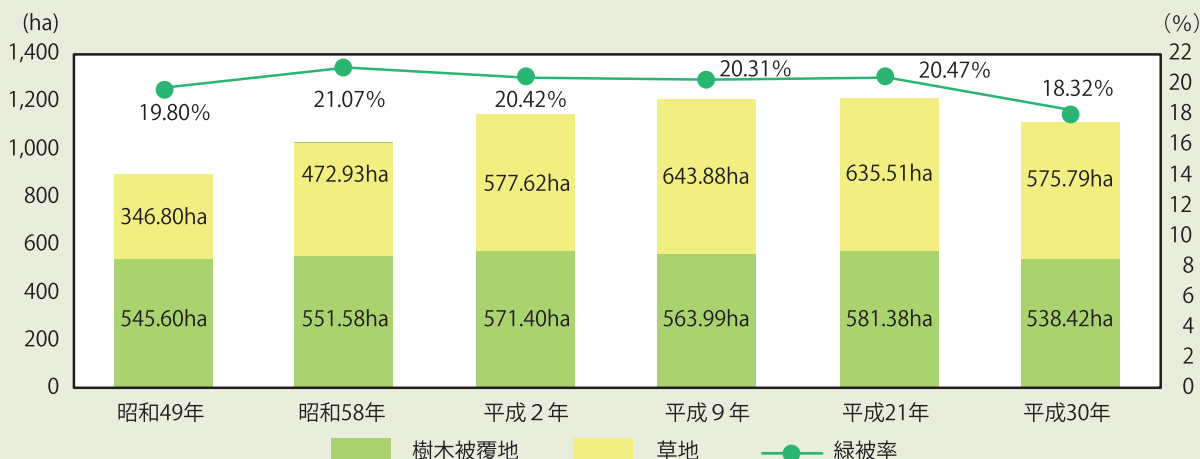
平成21年度・・・1,216.89ha



緑被等面積の構成割合

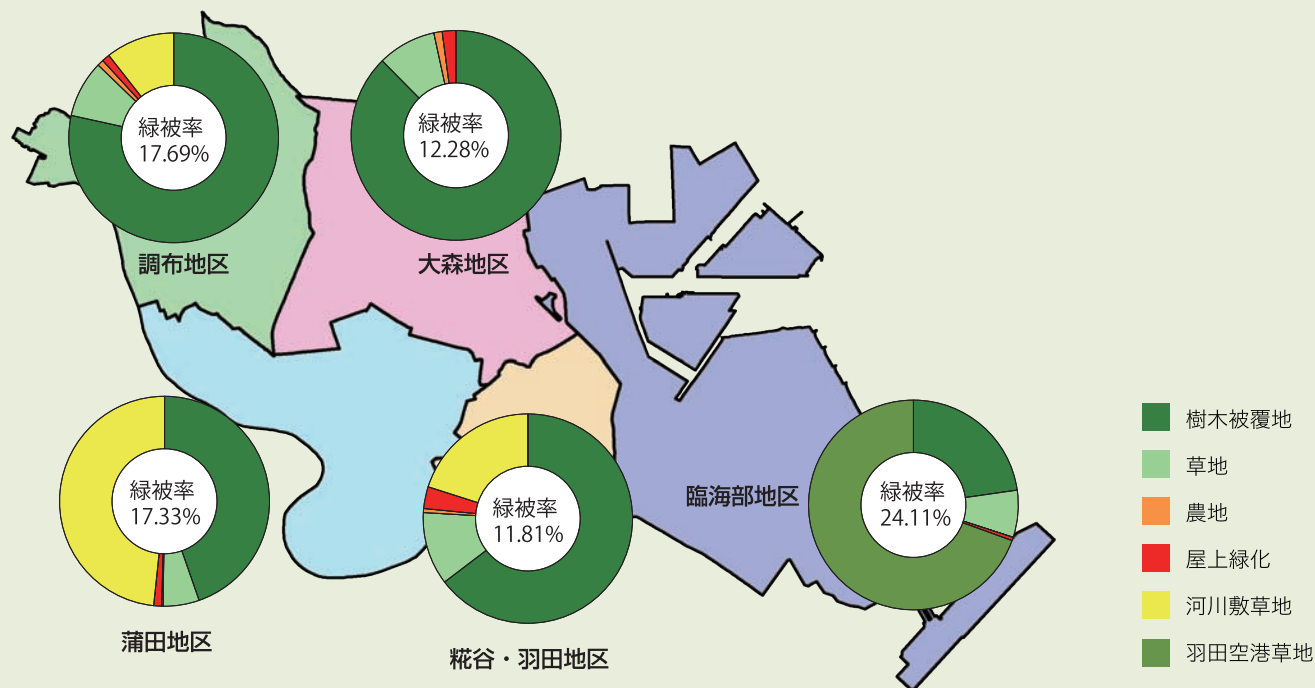
緑被率の変化

平成21年度調査からは、緑被面積102.68ha、緑被率2.15ポイントの減少でした。



地区別の緑被率

地区別の緑被率は臨海部地区が最も高く、糞谷・羽田地区が最も低いです。



みどり率

みどり率とは、緑被率に「水面が占める割合」と「公園内の緑被で覆われていない面積の割合」を加えたものです。

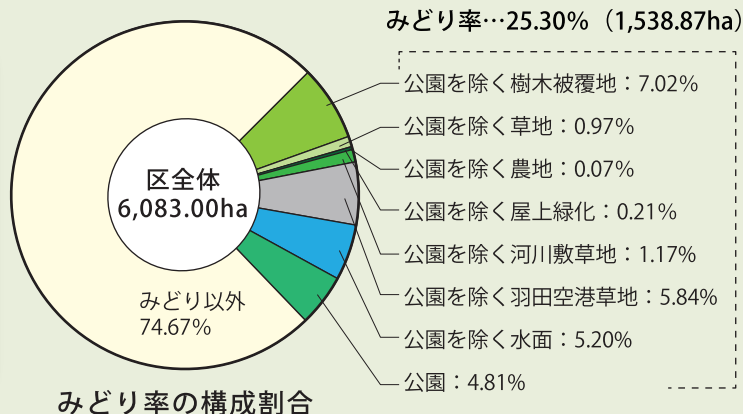
平成21年度調査からは、みどり面積は125.70ha、みどり率は2.70ポイントの減少でした。

みどり率…25.30%

平成21年度…27.99%

みどり面積…1,538.87ha

平成21年度…1,664.57ha



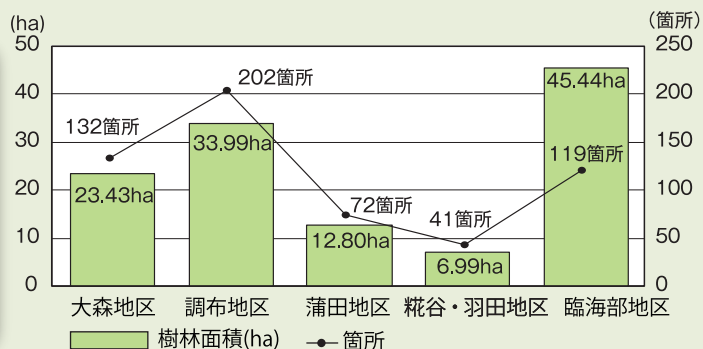
樹林地

300㎡以上の樹林地は平成21年度調査から、箇所数は200箇所減少しましたが、面積は10.98ha増加しました。台地上の規模の小さい樹林地が減少しており、臨海部の公園等にある樹林地面積が増加しました。

**面積300㎡以上
高さ5m以上の樹林地**

…566箇所 / 122.64ha

平成21年度…766箇所 / 111.65ha



高さ10m以上の樹木が10本以上の樹林地…106箇所

調査対象は、300㎡以上の樹林地566箇所のうち、高さ10m以上の樹木が10本以上あり、公園以外の樹林地です。

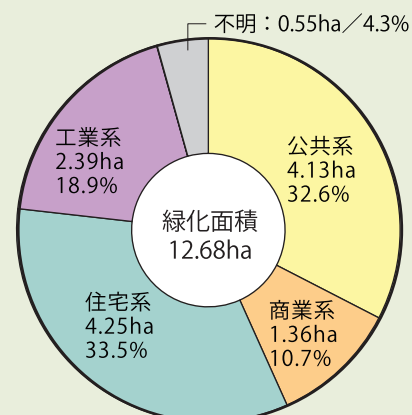
屋上緑化等

屋上緑化等は、平成21年度調査から357箇所、3.13ha増加しました。公共系の施設での増加が大きく、大規模な屋上緑化も増えています。

屋上緑化等

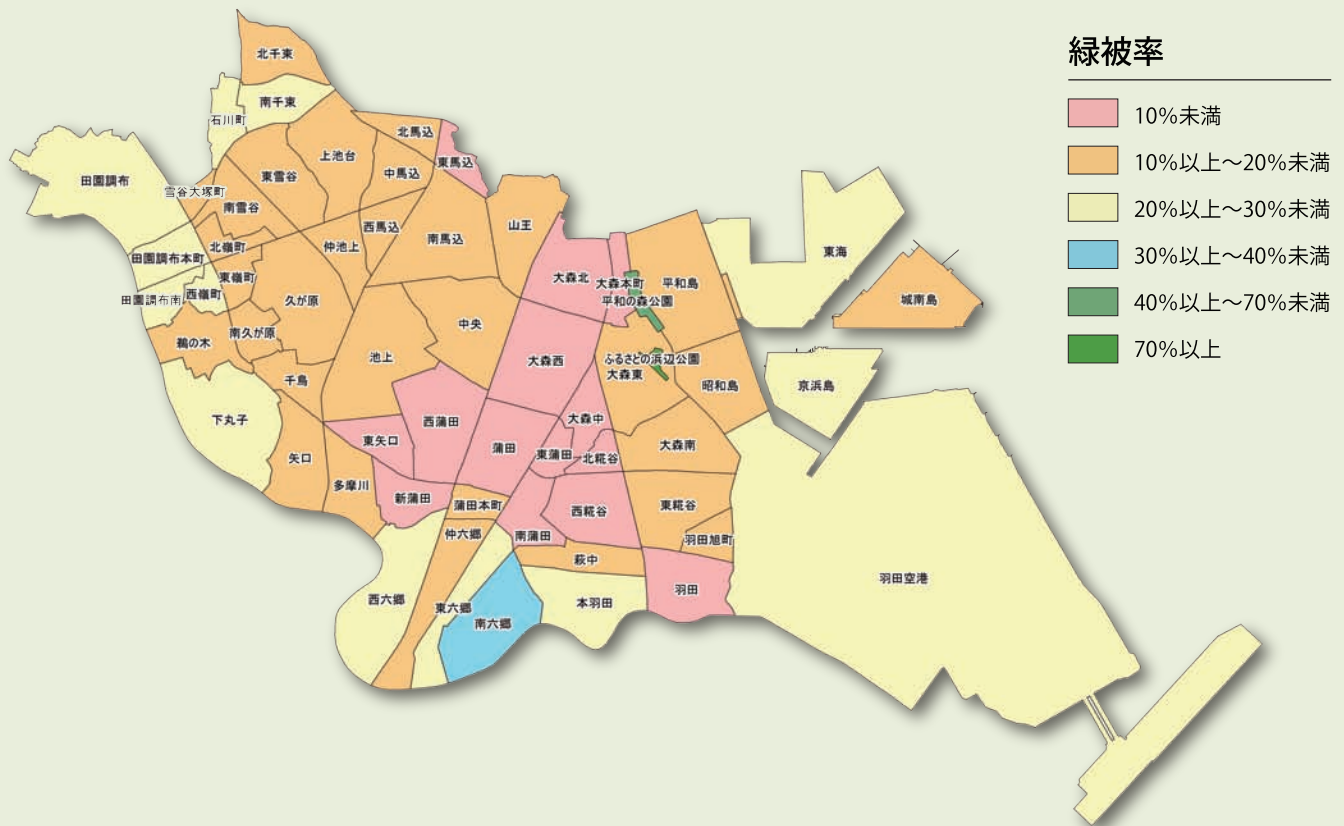
…3,455箇所 / 12.68ha

平成21年度…3,098箇所 / 9.54ha



町別緑被率の分布状況

低地部の蒲田や大森の緑被率は低く、台地部・臨海部の緑被率は高くなっています。



町別緑被率の変化状況

平成21年度調査と平成30年度調査の緑被率の変化状況では、区内の多くの町で緑被率は減少しました。減少が大きい地区は臨海部地区・調布地区・大森地区でした。臨海部地区は羽田空港の草地の減少、調布地区と大森地区は樹木被覆地の減少が大きいです。

